

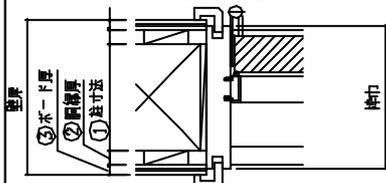
販売店様・加工店様へのお願い

絵表示	意味
	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。
	「必ず行なっていただく事」を示しています。

- 注意** ホームテリア商品は常に湿気のある場所へのご使用は避けてください。
- 注意** 直射日光に当たる場所への保管は避けてください。
- 注意** 施工時、雨がつかからない様にご注意ください。
- 注意** ケーシングは壁・床仕上げ後、取付けてください。

壁厚に対する枠（枠中）の選び方

※枠とケーシングは壁厚によって使い分けてください。



別府壁厚	タイプ	枠寸法	ケーシング寸法
112~125	厚壁	枠中11D	24mm
126~141		110	31mm
142~155	厚壁	枠中14D	24mm
156~170		140	31mm

壁厚 = ① 柱寸法 + ② 囲縁厚 × 2 + ③ ボード厚 × 2

開口部の作り方

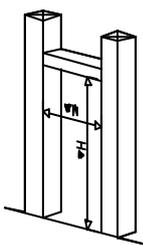
開口部は差し金、下げ振り等を使用して水平・垂直を正しく出してください。

製品寸法表

(単位mm)

機種	枠W (ドアW)	枠H (ドアH)
室内ドア	730 (674)	2040 (1992)
	780 (724)	2040 (1992)
	875 (819)	2040 (1992)
トイレドア	H19 648 (592)	2040 (1992)
	H20 648 (592)	2040 (1992)
親子ドア	1190 (1144)	2040 (1992)

※トイレドア H19はトイレ下枠を使用するタイプです。

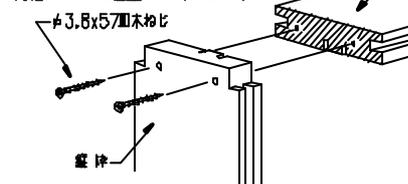


開口▼W=枠W+10mm
開口▼H=枠H+5mm

- 香摺りやトイレ下枠を使わない場合 縦枠を切り詰めてください。
- ※ ドア下端の隙間は標準で6mm算出です。縦枠は床の納り寸法により枠Hは最大15mm切り詰めができます。
- 香摺りやトイレ下枠を取付けた場合 枠の切り詰めする必要はありません。

枠の組立

開口部に合せて、縦枠の下端部を切り詰めてください。枠組立時、部に木工用ボンド(別途)を塗布し同相のビスで組立ててください。



香摺りの取付け

香摺り、トイレ下枠を必要な寸法に切断してください。

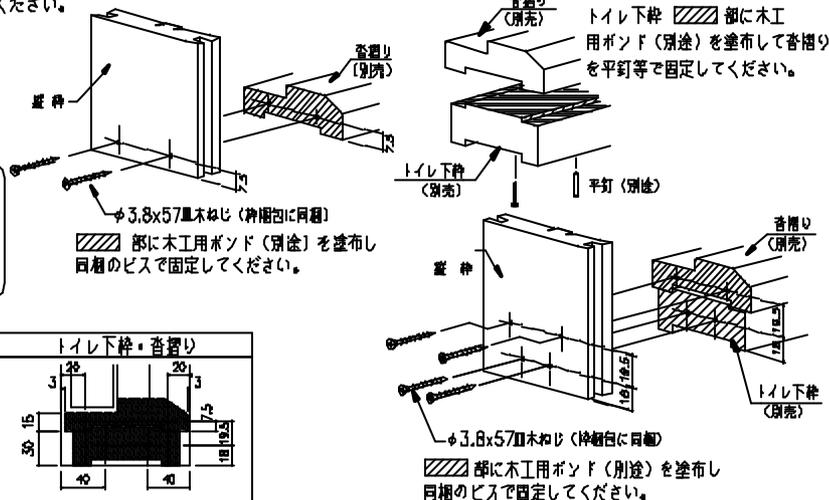
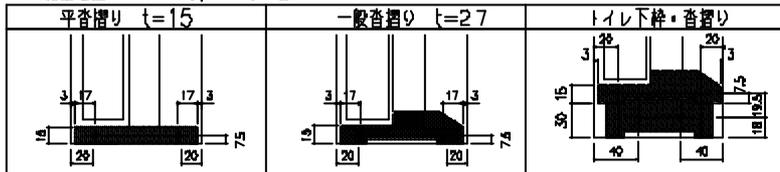
切断寸法表
(単位:mm)

室内ドア	枠W寸法	香摺り・トイレ下枠 幅寸法
	W:730	682
トイレドア	W:780	732
	W:875	827
親子ドア	W:648	600
	W:1190	1142

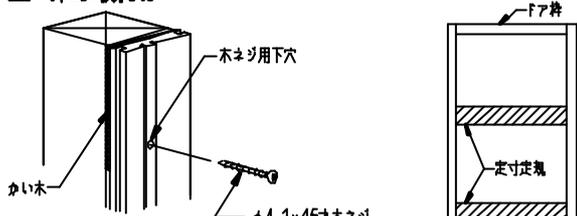
お願い

- 縦枠・香摺り・トイレ下枠に下穴を施してください。
- 下穴の大きさは、組立ビスの径の約65%で深さは、組立ビスの長さの100%です。(組立ビスはφ4x57ですので、下穴のドリルの径はφ2.6 深さは33mmとなります)
- 下穴加工を怠りますと枠材に亀裂が入ることがあります。

下穴加工位置 (巾110,巾140共通)



枠の取付け



- 枠を開口部に取付けます。
- 枠回りの下穴部分には必ずかい木を入れてください。
- 香摺り(別売)を使用しない場合には、枠内側の定寸定規を下に置き枠の垂直、ネジレ、水平を調整して木ネジで固定してください。

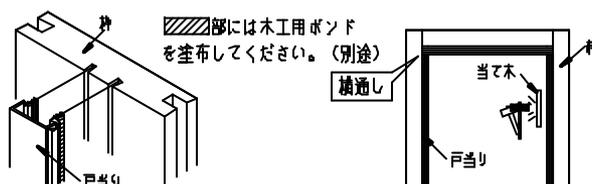
お願い

※定寸定規で必ず枠内寸法を確認しながら固定してください。確認を怠りますと、本体取付けに支障をきたす事があります。

○定規で枠にキズがつかない様に注意してください。

戸当りの取付け

- 壁・床材仕上げ後、戸当りを取付けてください。
- 戸当りの突起部に木工用ボンド(別途)を付け、枠の溝に突起部を合せて木をたたき込んでください。
- ※戸当り材は床の納りに合せてカットしてください。(戸当りは横通しとなっています。)



■ 丁番の取付け

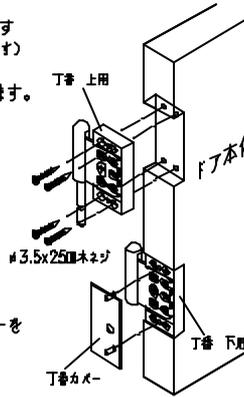
※本体側丁番は部品箱に入っています
(本図は右吊り元の例です)

ドア本体に丁番を木ネジで取り付けます。
丁番には右用、左用以外に
上用、下用がありますので
注意して取り付けてください。

▲ 注意

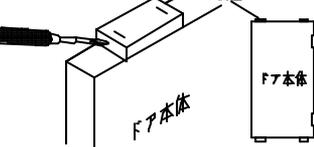
丁番は木ネジでゆるみのないよう
しっかりと取り付けてください。

丁番の取付けが終わったら、丁番カバーを
しっかりと嵌め込んでください。



■ 養生コマの取り外し

本体を吊り込む前に、本体を養生している
コマ(木片)を取り外してください。



▲ 注意

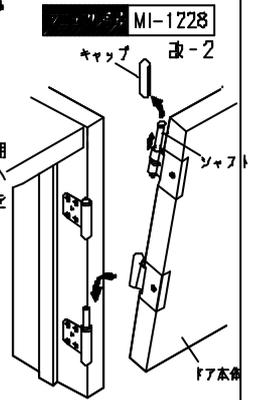
外したコマは釘が
飛び出ているので
ケガをしないように
折り曲げて処理
してください。

■ ドア本体の吊り込み

本体上用丁番のキャップを外し、
シャフトを引き上げます。

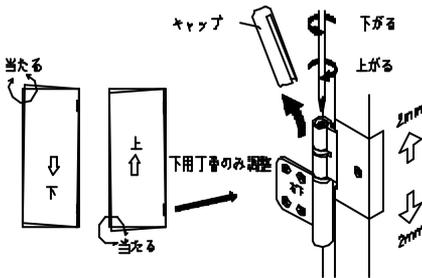
幹下用丁番のシャフトへ本体下用
丁番を差込み、次に幹上用丁番へ
本体上用丁番を乗せてシャフトを
"カチッ"と音のする位置まで
落とし込みます。

最後に外してあったキャップを
かぶせます。
(本図は右吊り元の例です)



■ 丁番の調整

上下調整 フッチ側の上、下が当たる場合

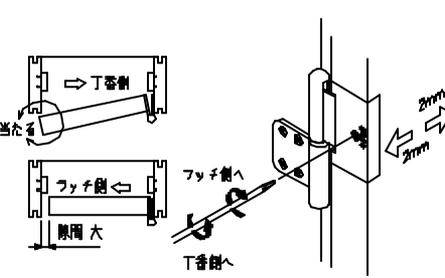


下用丁番のキャップを外し、丁番の管の内部にある
調整ネジを回し調整します。

右に回せばドアは上方向へ2mm
左に回せばドアは下方向へ2mm
調整できます。

調整が終わりましたら、キャップを
かぶせてください。

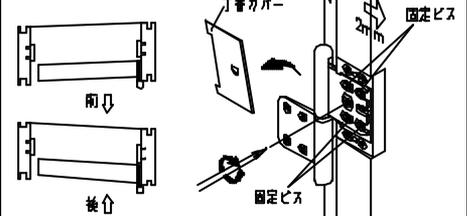
左右調整 フッチ側の感持に当たったり、開閉がでる場合



ドア本体側に取付いた中央の左右調整ビス
を回し調整します。

右に回せばドアはフッチ方向へ2mm
左に回せばドアは丁番方向へ2mm
調整できます。

前後調整 左右錠輪がネジれている場合



ドア本体の丁番カバーを外し、4本の固定ビスを
ゆるめてください。
中央の前後調整ビスを回し調整します。
前後へ2mmずつ調整できます。

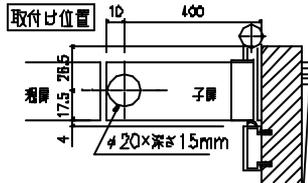
▲ 注意

調整が終わりましたら、4本の固定ビスを完全に
締め付けてください。

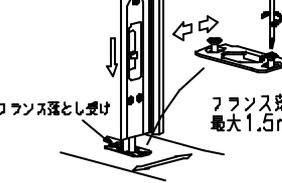
先ほど外したカバーをしっかりとめ込んでください。

■ 親子ドア用フランス落とし受けの取付け

- 杏摺り(親子専用又は定尺材)を
使用する場合でもしない場合でも
右図に従い、床面又は杏摺りに加
工を施し専用ビスφ3.5x20で取
付けてください。
- 両杏摺りを使用する場合、杏摺りと床
材両方を加工してください。



調整方法

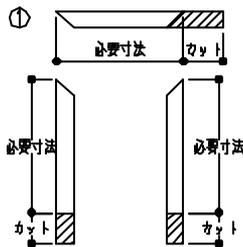


フランス落とし受けは、上用は上枠に取付いています。
また、下用は枠に同梱されているので、
現場にて取付けられます。

フランス落とし受けの前後のチリ調整は
最大1.5mmずつ動かすことができます。

■ ケーシングの取付け

ケーシングは壁・床材仕上げ後です

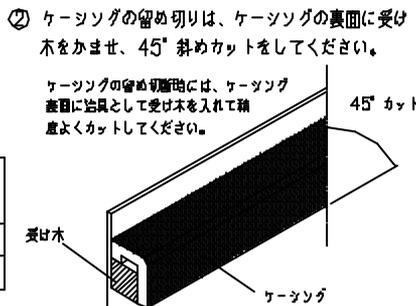


ケーシングは長めに切断してあります。
現場寸法に合わせてカットしてください。

参考必要寸法 (単位:mm)

上枠用	室内用	トイレ用	親子用
	754 (W:730)	804 (W:780)	899 (W:875)
		672	1214

※親子用はフロア一面より算出してください。



② ケーシングの留め切りは、ケーシングの裏面に受け
木をかませ、45° 斜めカットをしてください。

ケーシングの留め開始には、ケーシング
裏面に仕具として受け木を入れて精
度よくカットしてください。

③ ケーシングの足を枠のケーシング用溝に差し込
んでください。

④ ケーシングを木工用ボンド(別途)で枠に固定
してください。

- ボンドが乾くまでの修正
用に専用カシメ釘(別途)
をご利用ください。
- カシメ釘の頭をとばした後
パッチャルペンシル材(別
売)で管修してください。

■ 参考納まり図 縦断面図(杏摺り無し)

縦断面図(平杏摺り)

縦断面図(一般杏摺り)

横断面図(共通)

